

☆佐治晴夫先生のプロフィール

1935年東京生まれ。理学博士（理論物理学）東京大学物性研究所、ウィーン大学理論物理学研究所、松下電器東京研究所などでの研究生生活を経て、玉川大学、県立宮城大学教授、鈴鹿短期大学学長、学校法人享栄学園理事長などを歴任、現在、同短期大学名誉学長、大阪音楽大学客員教授、北海道・美宙（MISORA）天文台台長、宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙連詩編纂委員会委員長。

量子論的無からの宇宙創生にかかわる「ゆらぎ」の理論研究や、1977年に太陽系・外惑星探査を目的としてNASAが打ち上げたボイジャーには、地球人類のタイムカプセルとしてゴールドエンレコードが搭載されているが、その中に、バッハの音楽を収録することの提案などで知られる。また、科学と芸術との学際的新分野、数理芸術学を提唱し、宇宙研究の成果を基に、宗教、芸術などとの対話を続けることを平和教育への架け橋と位置づけ、活動をつづけている。

これまでに、全国の700校あまりの小中高等学校で、「宇宙といのち」の特別出前授業を行い、好評を得ている。また、キリスト教と仏教との共通点を数学的発想で読み解くダイライラマ法王14世との公開対話は、大きな話題になった。日本文藝家協会会員。

☆著書

「あそんでまなぶ わたしとせかい:子どもの育ちと環境のひみつ」(みらい)

「ぼくたちは今日も宇宙を旅している」(PHP研究所)

「宇宙が教える人生の方程式」(幻冬舎)

「こころを学ぶ ダライ・ラマ法王 仏教者と科学者の対話」(講談社)

「ゆらぎの不思議—宇宙創造の物語」(PHP文庫)

他、多数